

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに



市連Pソフトボール大会2日目は、湯野刈に勝ち、ベスト4を
かけ庭家小との試合へ。最終回まで2-0のリードでしたが、惜し
くも逆転され2-3での終了。ベルギー戦の西野ジャパンのような
戦いぶり、語り継がれることでしょう。大変お疲れさまでした。



「夏の音楽集会」 - 7月3日 (水) 3校時 体育館 -

学年の発達段階にあわせた歌や演奏を発表しました。下学年にいくほどかわいらしく、上学年にいくほど自立的
に進んでいる様子を感じました。暑い中でしたが、子どもたちも満足したことと思います。

【5年生】心を一つにしたすてきな歌声でした。

【3年生】習ったばかりのリコーダーもじょうずでした。



【1年生】学級の歌も元気に披露しました。

【4年生】リズムよく歌うことができました。



【2年生】振り付けも考えて上手に歌いました。

【6年生】さすが6年生。しっかりした発表でした。



【校長のつぶやき】 その3 「保護者も“笑顔”になるために」

「親」という役割を果たすのは、本当に大変。「素の自分」でいたいのに、「親」という役割がのしかかってくる。ましてや、言うことを聞かないのが「子ども」である。ストレスがピークになって「力」で思い通りにしようとすると、「体罰」や「虐待」へとつながっていく。

「親」として困っているときは、よかったら校長室を訪ねてほしい。心理的な部分では、スクールカウンセラーを紹介することもできる。生活的な部分では、スクールソーシャルワーカーを紹介することもできる。私でよいのなら、話を聞いただけならできる。話すだけでも心が軽くなることもある。

最初から完成された「親」などいない。みんな悩みなから「親」という役割を何とか担っている。

親の「笑顔」は子どもの「笑顔」につながっている。私の望みは「子どもも笑顔、保護者も笑顔、教師も笑顔」である。くだいけれども、「親」として困っているときは、気軽に校長室を訪ねてほしい。

